

## 【学生交流会】

## 私のまちのファミリーヘルスを考える

小板橋 恵美子 東邦大学健康科学部・教授

瀧口 千枝 東邦大学健康科学部・准教授

少子高齢化と人口減少、そして人口動態の地域格差が深刻化する現代において、家族や社会全体で人々の健康を支える「ファミリーヘルス」の視点は、ますます重要になっている。本企画は、異なるキャンパスに所属する看護学部と健康科学部の学生が、それぞれの拠点で得られた知見を持ち寄り、自らの暮らす地域を見つめ直す機会を提供する。共通のキーワードである「ファミリーヘルス」を軸に、各地域の特性や健康課題、そしてそれらに対する取り組みについて共有・討議することで学生の学びを深めることを目的とする。

看護学部の学生は、「地域共生社会論」において調べた、地域での多様な取り組み事例や、地域住民との交流活動を通じて得た学びを報告する。一方、健康科学部の学生は、「看護の基本技術（地区診断）」の授業でおこなった調べ学習をもとに、特定の地域で生活する人々の健康課題に対する支援策の検討結果を発表する。発表後には互いの成果をもとにディスカッションすることにより、学生ならではの柔軟で新しい視点から「地域におけるファミリーヘルス」を再考し理解を深める。

キャンパスを超えて交流する本企画は、学生が地域課題の多様性と同時に共通性を認識する機会となる。それぞれの地域が抱える固有の課題と、普遍的な健康ニーズを理解することで、地域の違いを超えて、より広い視野で「ファミリーヘルス」の概念を捉える力を養う。さらに、両学部の学生間の交流、連携を活性化させ、専門職としてのネットワーク作りの契機になることも期待する。

[学生交流会企画者]

成澤 明 (東邦大学看護学部・准教授)

尾立 篤子 (東邦大学健康科学部長・教授)

瀧口 千枝 (東邦大学健康科学部・准教授)